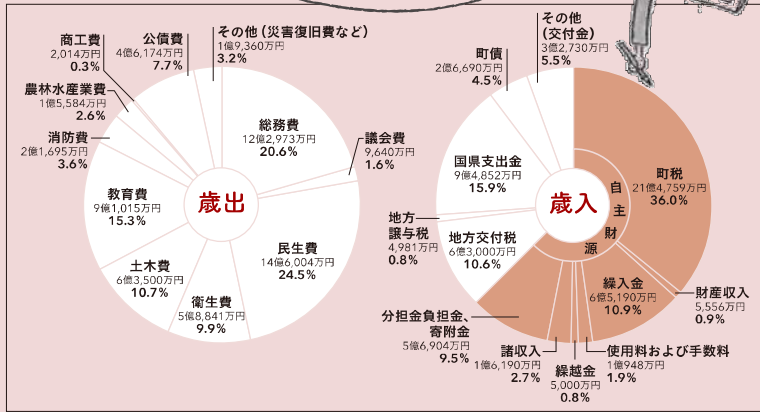


一般会計予算

総額額は59億6,800万円です。久山町では、人口数に比べて町税の占める割合が大きいのが特徴です。開発を抑制し、自然を守りながら町内3か所の工場団地など計画的に企業誘致をやってきた成果といえます。



特別会計予算

特別会計	当初予算額	増減率
国民健康保険	10億8,357万円	前年度比6.9% ↑
後期高齢者医療	1億7,068万円	前年度比0.6% ↑

特定の事業について、資金運用の状況をよりわかりやすくするために一般会計と分けています。

公営企業会計予算

公営企業とは、水の供給や下水の処理などで得られる収入をもとに経営を行っており、民間の企業のように企業会計原則が適用されます。久山町には水道事業会計と公共下水道事業会計があります。

事業	収益的	収入		支出	
		金額	割合	金額	割合
水道事業	収益的	2億6,842万円	100%	2億4,253万円	100%
		2億6,842万円	100%	2億4,253万円	100%
	資本的	5,821万円	100%	2億595万円	100%
		5,821万円	100%	2億595万円	100%
公共下水道事業	収益的	4億6,994万円	100%	4億1,456万円	100%
		4億6,994万円	100%	4億1,456万円	100%
	資本的	1億8,873万円	100%	3億8,932万円	100%
		1億8,873万円	100%	3億8,932万円	100%

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額2億59万円は、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額856万円、当年度分損益勘定留保資金9,564万円、建設改良積立金4,354万円で補てんする。

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額2億59万円は、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額1,473万円、過年度分損益勘定留保資金6,372万円、当年度分損益勘定留保資金1億2,214万円を補てんする。

いまこそ！ みんなでデザイン



令和5年度はこれだ！

久山町当初予算

令和5年度施政方針

昨年度は、第4次久山町総合計画のはじまりの年度として、コロナ禍における町民の皆さまの安全と安心を第一に守りながら久山町独自の新たな事業を開始し、着実な一歩を踏み出した年となりました。

令和5年度は、物価高騰などの喫緊の課題へ対応しながら、久山町の魅力を育む大切な年になります。そのため、第4次久山町総合計画に掲げた各分野について、投資的な事業を盛り込んだ予算編成としています。

小さな町であることを最大限に生かして、小さな町だからこそ進んでいる、できる、と町民の皆さまが夢や希望を抱けるまちづくりを推進することで、健康を真に「実感できる」、幸福度(Well-being)の高い町を目指してまいります。

本年度も、どうぞよろしくお願いたします。

久山町長 西村勝

予算編成の3つのポイント

ポイント1
今、必要なたとの対応
学校施設の改修や道路舗装、ごみ袋の支給など、今、暮らしの中で必要とされていることを的確に捉えた取り組みを行います。

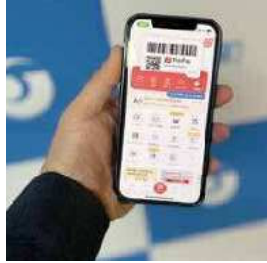
ポイント2
未来に向けた準備
社会潮流を捉えながら、未来に二石を投じる取り組みに挑戦します。

ポイント3
ハードとソフトの融合
暮らしの満足度を高めるため、ハード事業とソフト事業を融合して展開していくことを大切にしています。

注釈
※第4次久山町総合計画
町の10年間のまちづくりの方針を定めた計画
※ハード事業
公園整備や中学校図書室改修といった施設や設備など有形要素をつくる事業
※ソフト事業
町への満足感や愛着、風土や技術、意識、情報など形のない要素を醸成する事業



住民票印鑑証明などのコンビニ交付
 総務費：352万円
 7月1日からコンビニで、マイナンバーカードを使って証明書を取得できるようにします。



キャッシュレス決済導入支援
 商工費：500万円
 新規にキャッシュレス決済を導入する事業者に対して、電子決済導入支援を行います。



第4次総合計画
 本編・概要版



おもな取り組み
 第4次久山町総合計画の2年目となる今年度は、町民の皆さんはもちろん、民間企業など、町に関わる人々との関係づくりを大切に、久山町ならではの暮らしを実現していくために、新たな取り組みに磨きをかけていきます。



指定ごみ袋支給
 総務費：949万円
 物価高騰支援として、全世帯に1枚袋大20枚を支給します。



水稲農業物価高騰対策支援
 農林水産費：487万円
 物価高騰対策として、水稲作付農家を支援します。



学校施設改修事業
 教育費：2億2160万円
 子どもたちに快適な学びの場を提供し続けられるよう、計画的に改修工事を進めます。



一斉健診(ひさま健診)
 衛生費：3956万円
 健診項目と対象年齢が拡充されます。



公共施設の緑化
 総務費：200万円
 ワークショップを通じて、町民の皆さんが自然に触れる機会や緑化を楽しむ機会をつくれます。



学校橋復旧事業
 災害復旧費：1億1490万円
 学校橋復旧を令和5年度中に完了し、生活インフラの改善に努めます。



中学校図書館リニューアル
 教育費：1983万円
 中学生が自ら学び、考え、そして楽しみなが次世代に残す学校図書館をつくります。



シニアチャレンジ外出応援
 民生費：290万円
 70歳以上の方を対象に、イコパス無料券と映画館やカラオケなどが楽しめるクーポンを配布します。



どの事業においても、町民の皆さんのニーズと社会動向を踏まえ、スピード感をもって効果的かつ効果的かつ効果的に決定・推進していきます！



議会の動画配信
 議会費：1004万円
 どこからでも議会の傍聴ができるようライブ配信を開始します。



プログラミング教育アプリ導入
 教育費：79万円
 思いつたことは表現できる、自由な発想と表現力をICT教育の中で育むアプリを学校教育に導入します。



みんなで考える公園づくり
 民生費：650万円
 子育て世代を中心に有志が集い、理想の公園について考え、話し合い、少しずつ形にしていきます。